

2026 年 9 月 14 日

各 位

**(経過開示) 株式トークン保有者の証明サービス「Proof of Holding」の提供開始
および WOWBIT (WVB) トークンの Robinhood Chain 上の分散型取引所における
取扱開始に関するお知らせ**

当社は、2026 年 9 月 10 日付「[Robinhood Chain と接続した株式トークン保有者の証明サービス「Proof of Holding」の開発に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、株式トークンの保有者が自らの保有を第三者に証明できるサービスを開発いたしました。

このたび、関係法令に照らした確認を経て、本サービスの提供を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 提供の概要

項目	内容
サービス名	Proof of Holding
Web サイト	https://thanksmap.jp/token-stock.html
提供開始日	2026 年 9 月 11 日
対象	Robinhood Chain 上で公開されている株式トークンの登録簿に掲載された銘柄
利用料	保有者ご本人は無料
利用方法	保有者ご本人の署名のみでご利用いただけます。お申し込みや会員登録は不要です
対応言語	日本語・英語・中国語・韓国語の 4 言語

※ サービスの詳細および特徴は、2026 年 9 月 10 日付お知らせをご参照ください。保有数量の保存・表示は行わず、氏名・住所・メールアドレス等の個人情報の入力も求めません。

※ Robinhood Chain 上の株式トークンは国境を越えて保有されていることから、本サービスは 4 言語に対応しており、海外の保有者の方にもご利用いただけます。

【実際の画面】

日本語

PROOF OF HOLDING

Proof of Holding

「持っている」と名乗るのは、誰にでもできます。
ここでは、ご自分の証で署名していただき、チェーンの情報をこちらが読みます。出る
のは「持っていた」という事実だけです。
お名前は受け取らず、アドレスは、こちらでも証の物が分らない形に記録しま
す。いくつか持ちかは、どこにも残しません。

— 01 この証の所在地

この証は誰にでもあります。お金のやり取りは1円もありません。

— 02 ご自分の証で、署名する

証は、署名でおつなぎになった証のふんだけお出しします。ほかのアドレスを指定し
て受け取ることはできません。

ウォレットをつなぐ

この証で分かること——ある証の持ち主が、発行の時にその証を持っていたこと、それだけです。
記録しないこと——お名前・アドレスそのもの・保有の数。アドレスは増えた証にしかる保
存します。
誰に証で受け取った証か——その証で結びつきます証の証は、こちらにも付かずません。
いまの保有について——ご本人が「いまを確かめる」を押した直後の20分間だけ、現在の証にも出ま
す。アドレスをお知らせしていないので、運営の証から勝手に読み出すことはできません。
どこに付いているか——Robinhood Chain に接続しています(公開データのみに、公開されている証
——この証は、誰にでも受け取れる証ではありません)

ホーム 証券 取引 履歴 通知 設定 三

▲証を受け取る画面（ご本人の署名のみで発行し、保有数量は表示いたしません。画面右
上より 4 言語を切り替えていただけます。）

日本語

VERIFY

証の、照合

証の番号だけで、どなたでも確かめられます。出るのは事実だけで、どなたの証かは出
ません。

証の番号

bsp...で始める番号

照合する

ここで分かること——ある証の持ち主が、発行の時にその証を持っていたこと、それだけです。
ここで分かること——どなたか、お名前もアドレスも、その証は、この証には出ません。持っ
ていた証も記録していません。
いまの保有について——ご本人が「いまを確かめる」を押した直後の20分間だけ、ここに出ま
す。証は「持っている」とは「いまを確かめる」という意味です。運営はアドレスを
お知らせしていないので、勝手に読み出すことはできません。
証の発行・保有終了について——どちらも「発行」ではありません。証が指す事実には対応ありま
す。
どこに付いているか——Robinhood Chain に接続しています(公開データのみに、公開されている証
——この証は、誰にでも受け取れる証ではありません)
この証は、誰にでも受け取れる証として、誰にでも受け取れます。これは誰にでも受け取
れます。
本サービスは誰にでも受け取れる証であり、誰にでも受け取れます。

← 証を受け取る

ホーム 証券 取引 履歴 通知 設定 三

▲証を照合する画面（証の番号のみで、どなたでも発行時の事実を確認できます。持ち主
の特定はできません。）

2. WOWBIT (WWB) トークンの取扱開始について

2026 年 9 月 10 日付お知らせにおいて、当社が支援するトークン「WWB」について、

Robinhood Chain 上の分散型取引所へのリスティング支援を企図している旨をお知らせいたしました。当該取扱につきましては、2026 年 9 月 8 日に開始されておりますので、あわせてお知らせいたします。

項目	内容
接続の方法	LayerZero 社の OFT 規格を用い、Optimism 上の WWB をロックしたうえで、Robinhood Chain 上に 1 対 1 で発行
取扱開始日	2026 年 9 月 8 日
取扱先	Robinhood Chain 上の分散型取引所 (Uniswap) (URL: https://app.uniswap.org/explore/pools/robinhood/0x32896bc035c00735d7b1a6f684b2625e9b1993494bb478bc2c74def41af7013a)
ソースコード公開	接続に用いるコントラクトのソースコードを、同チェーンの公式エクスプローラ上で公開しております。なお、第三者によるセキュリティ監査は実施しておりません
当社の関与	接続の設計・実装・検証にかかる技術支援

【DEX Screener における取引状況画面】



▲Robinhood Chain 上の Uniswap における WWB/USDG ペアのチャートおよび取引履歴画面

(参考) WWB は、2026 年 1 月 23 日付「[WOWBIT \(WWB\) の Solana ネットワーク対応に関するお知らせ](#)」、2026 年 1 月 25 日付「[WOWBIT \(WWB\) の Raydium 上場に関するお知らせ](#)」および 2026 年 2 月 9 日付「[\(経過開示\) WOWBIT \(WWB\) トークンの Hyperliquid リスティ](#)

[ング完了および「Hyper NYAN」対応準備開始に関するお知らせ](#)にて既報の Solana、Hyperliquid に続き、このたび Robinhood Chain への対応を行ったものです。

3. 当社の立ち位置

当社は本サービスにおいて、トークンの売買・仲介・貸借・保管のいずれも行いません。資金を動かす機能はなく、保有の事実を確かめて証明するための窓口として機能いたします。なお、Robinhood 社および各トークンの発行体との直接的な提携関係はありません。

また、当社は WOWOO エコシステムにおいて、戦略的パートナーとして技術・事業の両面から支援を行う立場にあります。暗号資産「WWB」の発行主体は Wowoo Pte. Ltd. (Wowoo 社) であり、当社および当社グループは日本国内において暗号資産交換業を営むものではなく、資金決済法上の暗号資産交換業者には該当いたしません。

4. 今後の展開

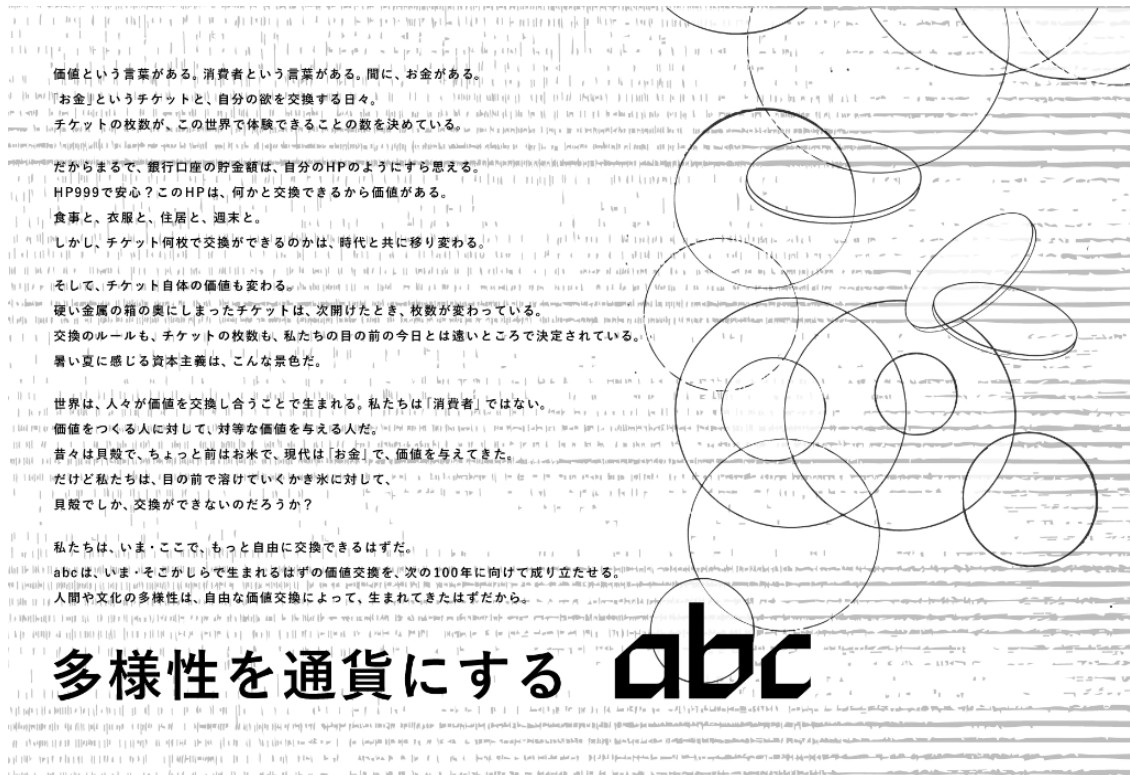
証明をお持ちの保有者が、会社への意見や賛否を届けられる場を設けることを検討しております。これは議決権ではなく、会社を拘束するものではありません。

あわせて、当社が運営する各種サービスにおける保有確認手段としての活用を検討してまいります。

また、WOWOO エコシステムの各機能 (Burn to Give 等) の Robinhood Chain 上での提供についても、関係法令に照らした確認を経たうえで、段階的に推進してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的として作成されたものであり、暗号資産その他の投資勧誘を目的とするものではありません。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

『お金』というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違いと決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は『お金』で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま・そこがらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上